

パネリストの経歴

【コーディネーター ひぐち よしお樋口 美雄 氏（慶応義塾大学商学部教授）】

・まち・ひと・しごと創生会議 有識者委員

・1952年生まれ。商学博士。一橋大学経済学研究所客員教授、米国スタンフォード大学経済政策研究所客員研究員、オハイオ州立大学経済学部客員教授等を経て現職。専門は労働経済学・計量経済学。厚生労働省労働政策審議会会長などを歴任。

○ おおし りょういち大橋 良一 氏（埼玉県加須市長）

・1947年生まれ。中央大学法学部 卒業。埼玉県職員を経て、2002年旧加須市助役就任。2005年旧加須市長就任。2010年の合併後から現職。市長就任以来、「改革」、「継承」、「市民との協働」の3つを市政運営の基本姿勢とし、救急をはじめとする地域医療体制の確立や、安全なまちをつくるため、ハード・ソフト両面からの防災施策の推進、「日本一子どもを産み育てやすいまちづくり」を目指した子育て支援や介護などの社会保障の充実、農業・工業・商業の振興などに積極的に取り組み、市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」の実現を目指している。加須市では、2015年7月から実践型地域雇用創造事業に取り組んでいる。

○ ながはま まさはる長濱 政治 氏（沖縄県宮古島市副市長）

・宮古島市出身。1948年生まれ。琉球大学法文学部法政学科卒業。沖縄県職員、沖縄県宮古支庁長を経て、2009年から現職。副市長就任以来、～躍動・元気・活気溢れる島づくり～に取り組む市長を支え、主に農漁業を中心とした産業に加え、六次産業化や観光産業等地域経済の振興及び雇用政策の推進に携わる。また、若年層に向けたキャリア教育も推進。知識を習得した若者達が、島へ戻り活躍できる島・土壌作りを行っている。2011年、宮古島地域雇用創造協議会の会長に就任。宮古島市では、2012年からの前回事業に引き続き、2015年7月から実践型地域雇用創造事業に取り組んでいる。

○ **岡田 美弥子 氏**（北海道大学大学院経済学研究院准教授）

・1964年生まれ。福岡県出身。神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。博士（経営学）。民間企業での勤務を経験した後、大学で経済学、大学院で経営学を学び、2001年北海道大学に着任。香港中文大学客員教員、2003年より現職。研究テーマは、日本のマンガ（コミックやアニメ、キャラクター商品など）のビジネスシステム。

○ **木藤 亮太 氏**（株式会社油津応援団専務取締役／事業間連携専門官）

・1975年生まれ。福岡県那珂川町出身。宮崎県日南市が実施した全国公募により2013年7月より宮崎県日南市へ移住。テナントミックスサポートマネージャーとして、“猫さえ歩かない”と言われた油津商店街の再生事業に取り組み、約4年で29の新規出店、IT企業誘致等を実現。「2016年はばたく商店街30選（経済産業省）」を受賞。現在は商店街再生のために結成された株式会社油津応援団専務取締役、地元である福岡県那珂川町の事業間連携専門官として国内各地の地域づくりに関わる。